

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2023年度以降）

開講科目名 / Course	自然災害と防災・減災 / Natural disaster and disaster management		
時間割コード / Course Code	G1000691_G1		
開講所属 / Course Offered by	共通 /		
ターム・学期 / Term・Semester	2023年度 / Academic Year 第3クォーター / 3Q		
曜限 / Day, Period	金 / Fri 4		
開講区分 / Semester offered	後期 / the latter term		
単位数 / Credits	2.0		
学年 / Year	1,2,3,4		
主担当教員 / Main Instructor	此松 昌彦 / Konomatsu Masahiko		
授業形態 / Lecture Form	講義		
教室 / Classroom	E1-101 (東1号館) / E1-101		
開講形態 / Course Format			
ディプロマポリシー情報 / Diploma Policy	要件所属 / Course Name	ディプロマポリシー / Diploma Policy	DP値 / DP Point
	共通	幅広い教養と分野横断的な学力	6
		課題解決力と自己学修能力	2
		地域への関心と国際的視点	2
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	小河 健一 (保健センター)、此松 昌彦 / Konomatsu Masahiko (教育学部 (教員))、塚田 晃司 / Kouji Tsukada (システム工学部 (教員))、平田 隆行 / Takayuki Hirata (システム工学部 (教員))		
授業の概要・ねらい / Course Aims	<p>和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センターでは、学生たちが身近な自然災害に備えるために教養科目を開講する。近年、地震、津波、洪水、高潮、土砂災害が頻発している。そのため備えるための基礎的な知識を身に着ける。そこでこの講義では災害の概要から、災害時での行動、災害後の活動、平時での普段からの備える活動にわけて講義する。専任教員と外部の専門家によって講義する。</p> <p>大規模災害が発生しても、すぐに対応できるように、事前に災害への備えができるように知識などを広く知っていて、災害ボランティアとしても対応できることが目標である。</p> <p>この科目は日本損害保険協会、和歌山県社会福祉協議会、NPO法人日本防災士機構、県庁職員などをゲストスピーカーに招いて災害時の損害保険の必要性、災害ボランティアの活動、防災士の活動について事例紹介し、防災は広い分野から成立していることを学びます。</p>		
到達目標 / Course Objectives	自然災害について基礎的な知識や一般的な備えについて理解することができる。		
成績評価の方法・基準 / Grading Policies/Criteria	原則的に専任教員の各回でレポート課題やミニテストなどを行い評価します。それをもとに平均化します (90%)。さらにゲストの回では、リアクションペーパーの提出など出席の態度を評価します (10%)。		
教科書 / Textbook	特になし。事前に配布資料をMoodleなどでダウンロードできるようにして、講義時に配布します。		
参考書・参考文献 / Reference Book	講義時に紹介します。		
履修上の注意・メッセージ / Notice for Students	講義には必ず参加して、レポートなどの提出物はMoodleを利用して必ず提出してください。		
履修する上で必要な事項 / Prerequisite	講義時にノートパソコンがあるとカラーpdfファイルで見ながら受講ができます。事前には資料はMoodleでダウンロードできる予定です。		
履修を推奨する関連科目 / Related Courses	教養科目の「災害科学」を履修した学生は、これも履修することで防災について総括的に学ぶことができる。また教養科目では他に「災害ボランティア学」、「事前復興まちづくり学」を履修することができる。		
授業時間外学修についての指示 / Instructions for studying outside class hours	授業計画に沿って、事前学習と復習を行うこと。さらに授業に関連する災害や防災に関することなど自主的学習を求めます。授業時間の約2倍の時間外学習が必要です。		
その他連絡事項 / Other messages	特になし  教養科目 (基幹) - 科目群 6 『社会と、その公共性を考える』		
授業理解を深める方法 / How to deepen your understanding of classes	記載事項なし		

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2023年度以降）

オフィスアワー /Office Hours	授業時期：後期 金曜日3限 訪問先 東3号館 北417 此松研究室 なお会議や出張などの場合もあるため、可能な限り事前にメール（matsu@wakayama-u.ac.jp）で予約 下さい。 また他の教員の質問もまとめて受付ます。
科目ナンバリング /Course Numbering	C25031J1010111b1

授業計画詳細 / Course schedule

回(日時) / Time (date and time)	主題と位置付け(担当) / Subjects and instructor's position	学習方法と内容 / Methods and contents	備考 / Notes
1回	ガイダンス・近年の主な自然災害(此松)		
2回	広域・大規模火災(此松)		
3回	自助としての風水害・土砂災害等への備え(此松)		
4回	自主防災活動と地区防災計画(此松)		
5回	自衛隊の災害派遣(此松)(ゲスト:自衛隊和歌山地方協力本部)		
6回	災害と情報の活用と発信(塚田)		
7回	災害報道(此松) (ゲスト:仲山友章氏)		
8回	災害と損害保険(此松)(ゲスト:日本損害保険協会近畿支部)		
9回	避難所設置と運営協力(此松)		
10回	災害とボランティア活動(此松)(ゲスト:和歌山県社会福祉協議会)		
11回	行政の災害対策と危機管理(此松)(ゲスト:片家康裕氏)		
12回	耐震診断と補強(平田)		
13回	災害医療(小河)		
14回	防災士に期待される活動(此松)(ゲスト:日本防災士会和歌山県支部)		
15回	和歌山周辺の防災活動(此松)		